

北上川水系における 流域治水等の取組について

令和3年7月28日

国土交通省 東北地方整備局

流域治水プロジェクト～一級水系（109水系）、二級水系（12水系）で策定・公表～

- 「流域治水プロジェクト」は、国、流域自治体、企業等が協働し、河川整備に加え、市町村が実施する雨水貯留浸透施設整備や土地利用規制、利水ダムの事前放流等の治水対策の全体像を各水系で取りまとめたものであり、今般、全国109の一級水系、12の二級水系で策定・公表しました。
- 本プロジェクトのポイントは、① 様々な対策とその実施主体を見える化、② 対策のロードマップを示すとともに河川事業などの全体事業費（全一級水系で合計約17兆円規模）を明示、③ あらゆる関係者と協働する体制として協議会を設置したことです。
- 今後、本プロジェクトに基づきハード・ソフト一体となった事前防災対策を一層加速化するとともに、対策の更なる充実や協働体制の強化を図ります。

※下水道事業、砂防事業

【ポイントその①】 様々な対策とその実施主体を見える化

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 堤防整備、河道掘削、ダム建設・再生、砂防関係施設や雨水排水網の整備 等



河道掘削
(石狩川水系、北海道開発局)



公園貯留施設整備
(名取川水系、仙台市)



用水路の事前水位低下による雨水貯留
(吉井川水系、岡山市)

② 被害対象を減少させるための対策

- ・ 土地利用規制・誘導、止水板設置、不動産業界と連携した水害リスク情報提供 等



二線堤の保全・拡充
(肱川水系、大洲市)



災害危険区域設定
(久慈川水系、常陸太田市)



住宅地盤嵩上げに対する助成
(梯川水系、小松市)

③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ マイ・タイムラインの活用、危機管理型水位計、監視カメラの設置・増設 等



自主防災活動による畳堤設置
(揖保川水系、たつの市)



避難訓練の支援
(五ヶ瀬川水系、高千穂町)



公園等を活用した高台の整備
(庄内川水系、名古屋市)

【ポイントその②】 対策のロードマップを示して連携を推進

<ロードマップのイメージ>

区分	主な対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策	河道掘削	河川事務所、都道府県、市町村	→		
	ため池等の活用	市町村	→		
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクの低いエリアへの居住誘導	市町村	→		
	浸水防止板設置	市町村	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	公園を利用した高台整備	市町村	→		
	地区タイムラインの作成	都道府県、市町村	→		

【ポイントその③】 あらゆる関係者と協働する体制として協議会を設置



流域治水協議会開催の様子

- ・ 全国109の一級水系全てにおいて、総勢2000を超える、国、都道府県、市町村、民間企業等の機関が参画し、協議会を実施。
- ・ 地方整備局に加え、地方農政局や森林管理局、地方気象台が協議会の構成員として参画するなど、省庁横断的な取組として推進

北上川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、北上川水系においては、広大な森林面積や地域の主産業（農業等）などの地域特性を考慮し、河川整備に併せて、森林整備、治山対策や農地等の活用などの流域治水の取り組みを実施していく。また、国管理区間においては、北上川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川区域での対策
 - ・河道掘削、堤防整備、遊水地整備、北上川上流ダム再生、築川ダム建設等
- 集水域での対策
 - ・既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
 - ・下水道事業（雨水ポンプ場、幹線整備等）
 - ・水田貯留・森林整備・治山対策・土砂災害対策等
 - ・流出抑制対策検討 ※今後、関係機関と連携し対策検討



● 被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
 - ・土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定等）
 - ・土地利用・住まいの方の工夫（浸水被害軽減の宅地嵩上げ支援等）
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

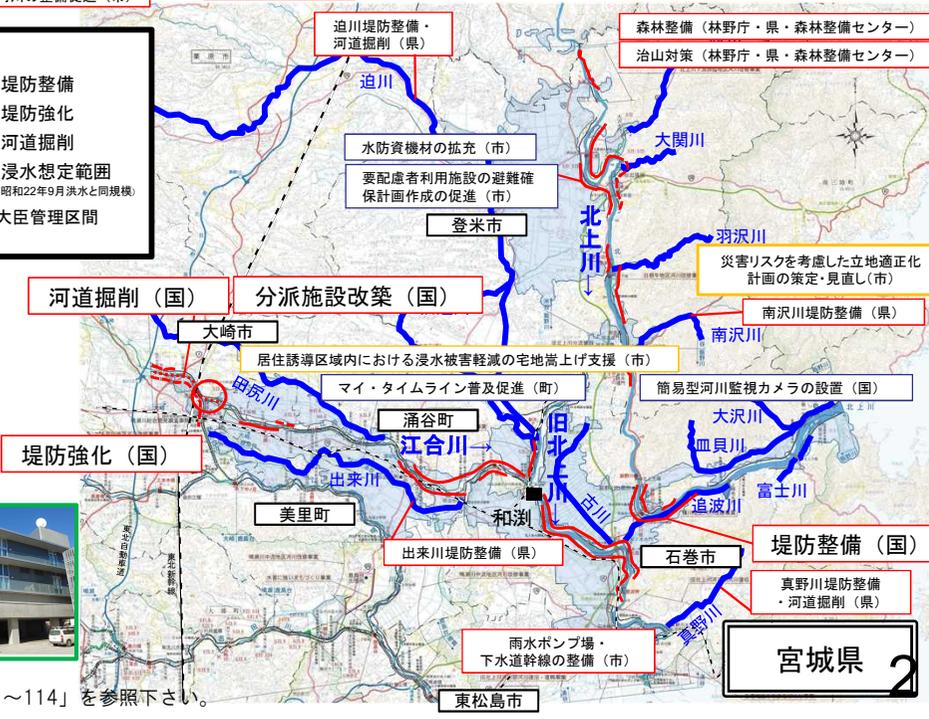
● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域での対策
 - ・防災拠点等の機能確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - ・メディアと連携による洪水情報の提供
 - ・簡易型河川監視カメラの設置
 - ・災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進
 - ・マイ・タイムライン普及促進
 - ・住民への情報伝達の充実
 - ・ダム堰の効果・操作に関わる情報の周知
 - ・水防資機材の拡充等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。
 ※関係機関の取組内容については、「位置図（詳細版）P4～7」「各機関の取り組みP74～84、P111～114」を参照下さい。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

凡例

- 堤防整備
- - - 堤防強化
- ⋯⋯⋯ 河道掘削
- 浸水想定範囲 (昭和22年9月洪水と同規模)
- ⇄ 大臣管理区間



北上川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

- 北上川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】一関遊水地整備や遊水地下流部の堤防整備および旧北上川分派施設による分派の受け皿としての北上川下流部の堤防整備等を実施するとともに、安全なまちづくりのための土地利用に関する計画の見直しを図る。
 - 【中期】盛岡市街地や北上川沿川等の浸水被害を防ぐため、北上川上流ダム再生および堤防整備等を実施するとともに、森林整備や治山対策と連携した流出抑制や、簡易型河川監視カメラの設置等による避難体制の強化を図る。
 - 【中長期】河道掘削や堤防整備及び新江合川分派施設を改築するとともに、下水道事業による内水被害軽減等の対策を図る。さらに、メディアとの連携による洪水情報の提供や、講習会の実施によるマイ・タイムラインの普及促進、要配慮者利用施設の避難確保計画作成等により、地域住民の防災意識の啓発と確実な避難体制の構築を図る。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■■■ : 対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
冠水を防ぐための対策	一関遊水地下流の治水対策	岩手河川国道事務所、岩手県	遊水地下流部(本川)		
	一関遊水地の整備	岩手河川国道事務所	一関遊水地下流の治水対策(本川)完了(岩手河川国道事務所、岩手県)		
	北上川上流の浸水被害を防ぐための堤防整備	岩手河川国道事務所、岩手県	一関遊水地の整備完了(岩手河川国道事務所)		
	北上川上流の浸水被害を防ぐための河道掘削	岩手河川国道事務所、岩手県	北上川上流の浸水被害を防ぐための堤防整備完了(岩手河川国道事務所)		
	北上川上流ダム再生	北上川ダム統合管理事務所	北上川上流の浸水被害を防ぐための河道掘削(岩手河川国道事務所)		
	利水ダム等の事前放流等に関する対策	北上川ダム統合管理事務所、鳴子ダム管理所 北上土地改良調査管理事務所、岩手県、宮城県	北上川(上流)広域河川改修事業完了(岩手県)		
	流出抑制に関する対策	岩手河川国道事務所 岩手県、宮城県、流城市町等	北上川上流ダム再生完了(北上川ダム統合管理事務所)		
	下水道事業(雨水ポンプ場、幹線整備等)	流城市町等	下水道施設耐水化事業完了(盛岡市)		
	北上川下流部及び石巻災害地を守る堤防整備	北上川下流河川事務所、宮城県	北上川下流部及び石巻災害地を守る堤防整備完了(北上川下流河川事務所、宮城県)		
	北上川下流の浸水被害を防ぐための堤防整備	北上川下流河川事務所、宮城県	北上川下流の浸水被害を防ぐための堤防整備完了(国、県)		
	北上川下流の浸水被害を防ぐための河道掘削	北上川下流河川事務所、宮城県			
	江合川の浸水被害を防ぐための河道掘削	北上川下流河川事務所、宮城県			
	新江合川分派施設	北上川下流河川事務所			
	土砂災害対策	岩手河川国道事務所、岩手県	北上川水系 岩の目の沢 事業間連携砂防等事業完了(岩手県)		
	森林整備・治山対策	岩手河川国道事務所、東北森林管理局、森林整備センター 岩手県、宮城県、流城市町等			
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し	盛岡市、花巻市、北上市、雫石町 等	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し完了(花巻市)		
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	国、県、流城市町	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し完了(盛岡市、北上市、雫石町)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	国、県、流城市町	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進(国、県、流城市町等)		
	メディアとの連携による洪水情報の提供	北上川ダム統合管理事務所、岩手河川国道事務所 北上川下流河川事務所、鳴子ダム管理所、岩手県、宮城県			
	簡易型河川カメラの設置・運用	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所 岩手県、宮城県	簡易型河川監視カメラの設置(国、県)		
	マイ・タイムライン普及促進	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所 岩手県、宮城県			
	被害軽減対策検討	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所 岩手県、宮城県、流城市町等			
ソフト対策のための整備検討	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所 岩手県、宮城県、流城市町等				



【事業費（R2年度以降の残事業費）】

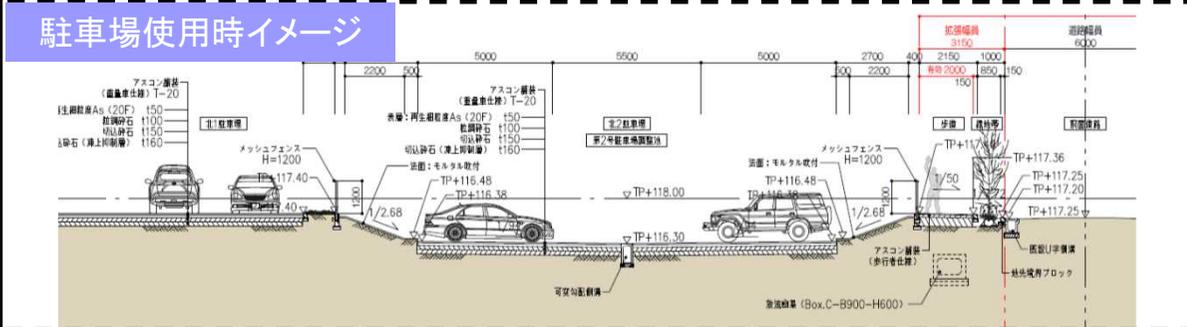
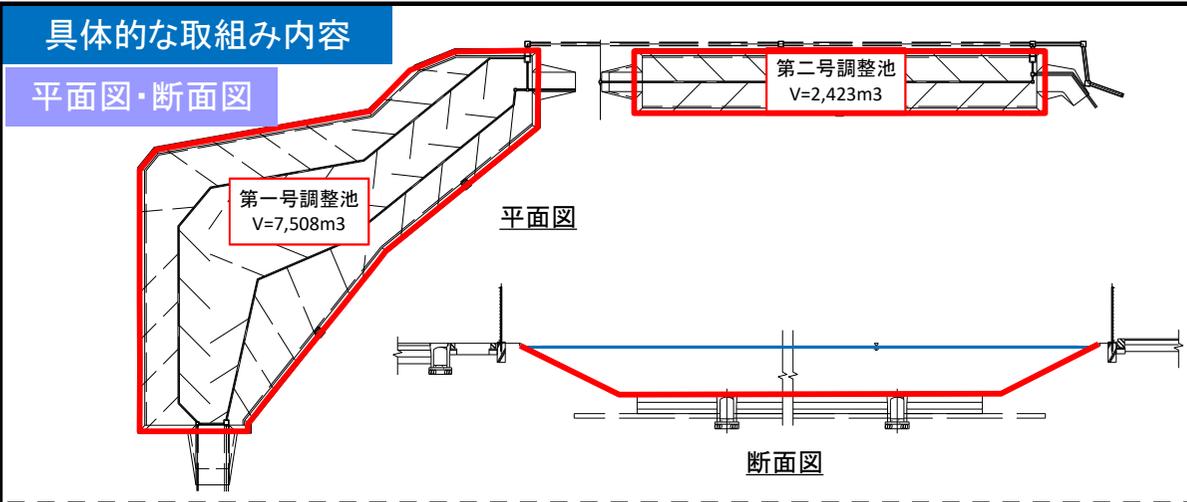
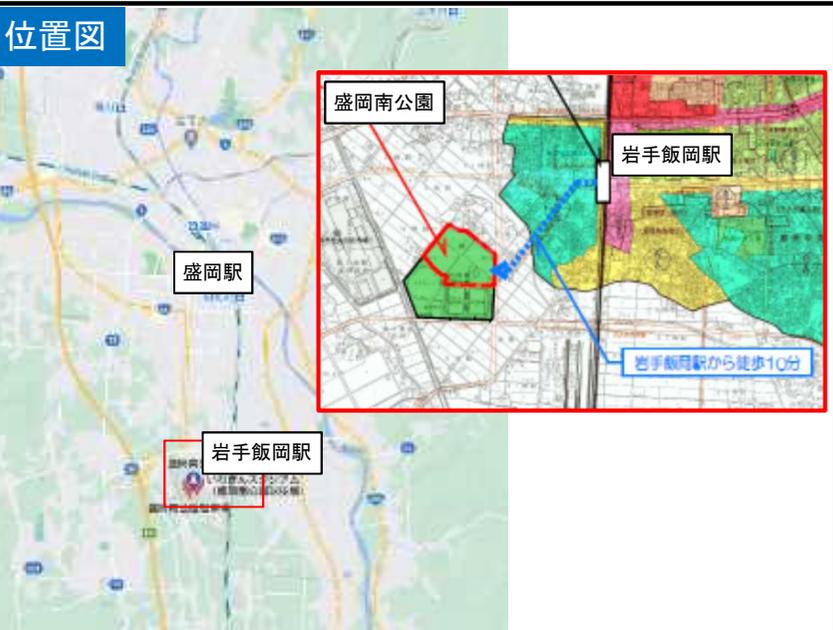
- 河川対策
全体事業費 約3,120億円 ※1
対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備、北上川上流ダム再生、築川ダム建設 等
- 砂防対策
全体事業費 約350億円 ※2
対策内容 土砂災害対策 等
- 下水道対策
全体事業費 約1,130億円 ※3
対策内容 雨水ポンプ場、幹線整備 等

※1: 直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
※2: 直轄砂防事業の残事業費を記載 (秋田県側含む)
※3: 各市町における下水道事業計画の残事業費を記載



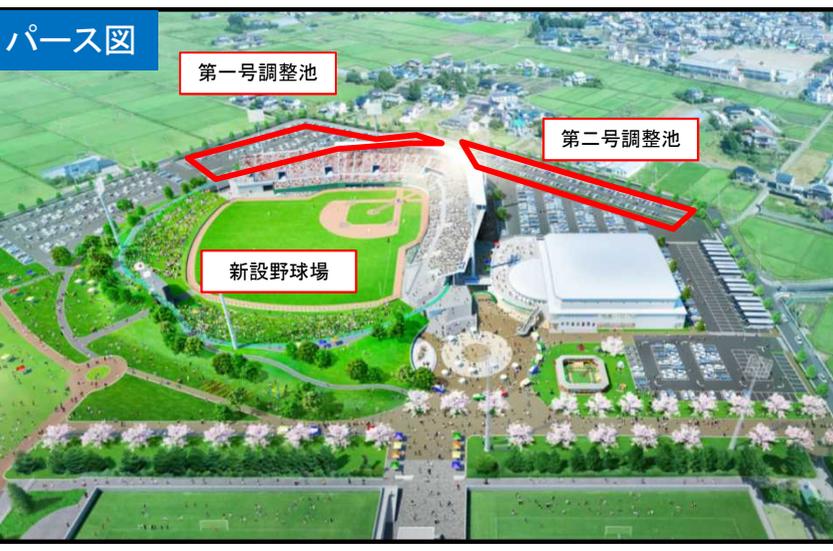
公園貯留（維持管理が容易で安全性の高い防災調整池）

- 盛岡南公園の防災調整池は、新設野球場敷地外周の利用頻度の低い駐車場の一部を掘り下げ開渠として確保する。これにより、工事期間中及び供用開始後の周辺住宅や水田への雨水の流出を着実に防止します。また、開渠とすることで地下式に比べ日常の点検や清掃が容易に行うことができます。



調整池の啓発活動

駐車場調整池の啓発活動の一環として、管理者をはじめ地域住民に広く認識・理解を得られるよう、施設の目的・効果・概要・注記等を記した看板（サインボード）を設置することが有効である。



貯留施設の設置・支援

- 開発に伴う流出量の増大に対して、調整池を設置し雨水を一時的に貯留することで、河川への流出量の抑制を図ります。
- 個人住宅等に設置する雨水貯留タンクなどの小規模な貯留施設に対して、設置費用を助成し、設置の推進を図ります。

貯留施設のイメージ



出典：国土交通省

(事例) 宮城県東松島市大曲地区の調整池



出典：東松島市ホームページ

(事例) 宮城県石巻市では雨水タンクの購入費用の助成を実施



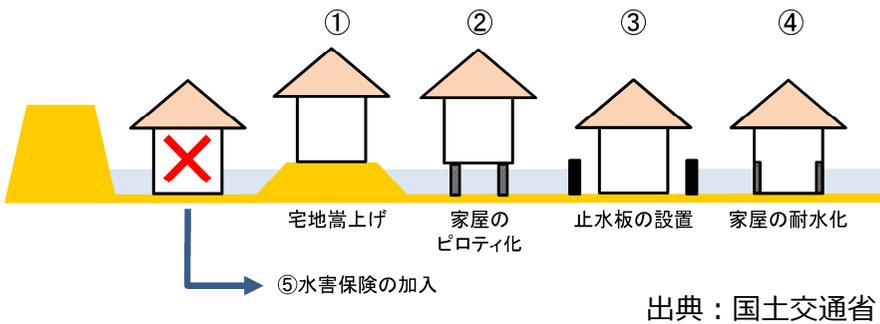
出典：
石巻市ホームページ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

宅地嵩上げ・高床化の支援

● 浸水の実績区域や、浸水の想定される区域に現存する建築物に対して、嵩上げ、高床化等の工事費用を助成します。

宅地嵩上げ等のイメージ



【浸水エリアで考えられる対策】

- ① 宅地嵩上げ
- ② 家屋のピロティ化
- ③ 止水版の設置
- ④ 家屋の耐水化
- ⑤ 水害保険の加入



嵩上げ等に掛かる費用を助成

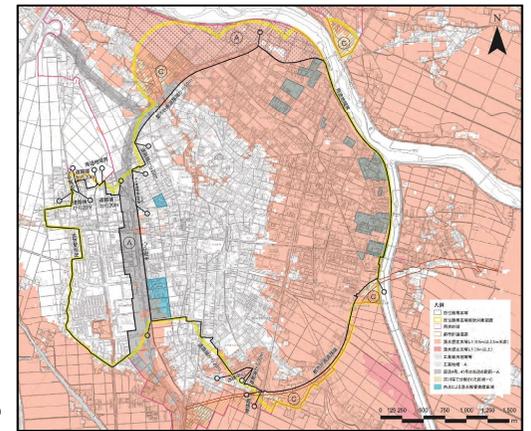
(事例) 宮城県大崎市の宅地嵩上げ支援

■大崎市宅地かさ上げ等 事業補助金

大崎市では、立地適正化計画に定める居住誘導区域内において、浸水被害を軽減するため、一定の要件を満たした対象区域内の住宅の所有者が行う宅地のかさ上げ等に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付している。

出典：大崎市HP

【大崎市古川地区の居住誘導区域】



【大崎市内で実施された盛土工事の事例】

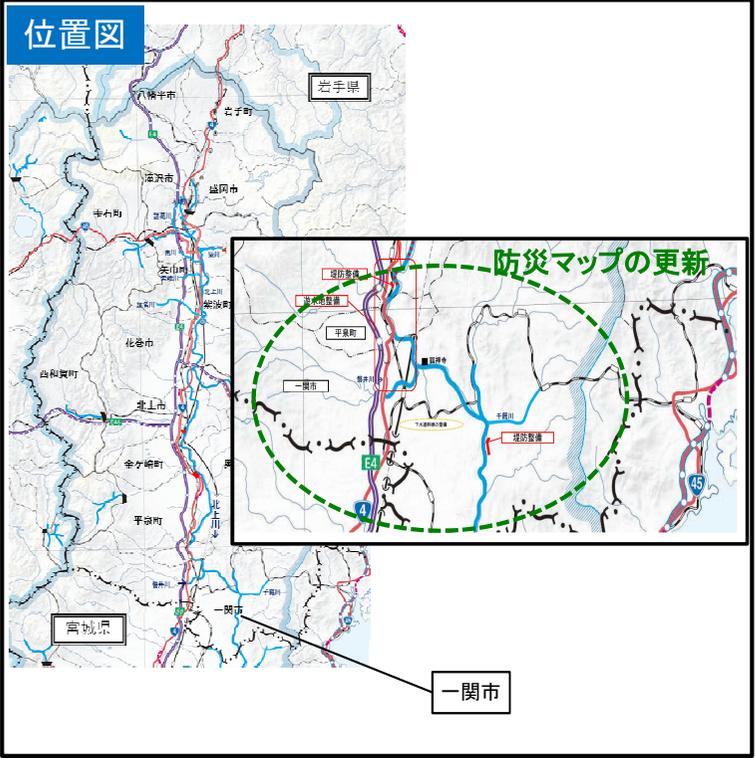
出典：大崎市提供資料を基に作成

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

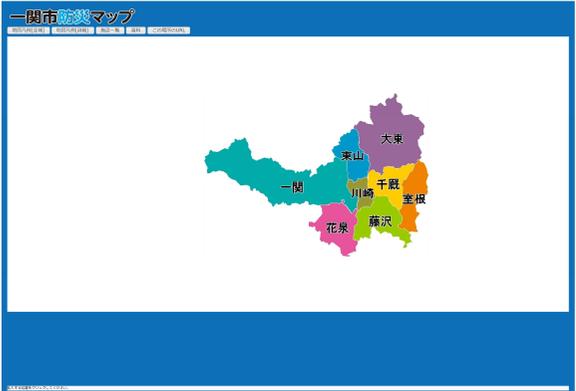


洪水・内水ハザードマップの見直し（防災マップの更新）

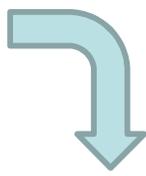
- H29年度に作成し市内全戸に配布を行った。インターネットでの閲覧が可能となっており、土砂災害をはじめとした危険箇所や避難所の場所などいつでも確認が可能。内容の更新については、概ね5年に1度実施したいと考えています。



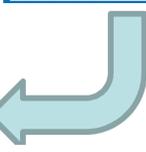
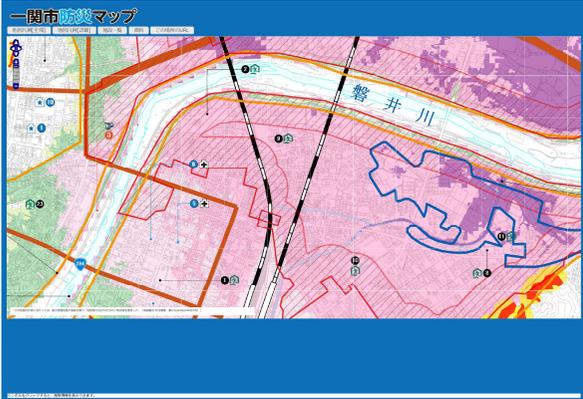
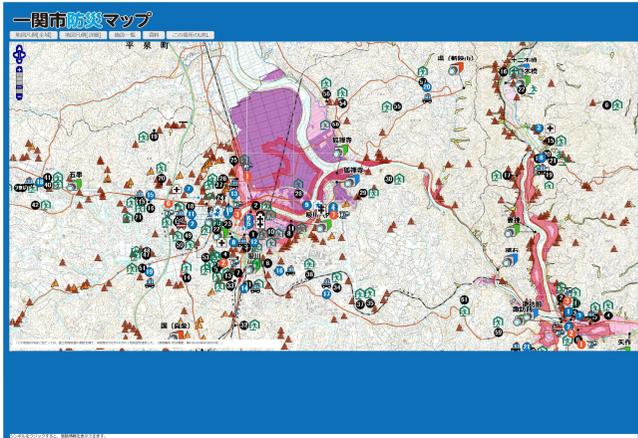
具体的な取り組み内容



①インターネットで「一関市防災マップ」を検索、自分の居住地区（一関、千厩など）をクリック



②地図上に土砂災害危険箇所、河川が氾濫した場合の浸水深、避難場所などが表示される



③拡大することで避難経路の確認や、避難場所の詳細、各避難所への避難対象地域などが確認できる

旧北上川復旧・復興事業～旧北上川河口部の堤防が一連でつながりました！～

- 東北地方太平洋沖地震により被災を受けた旧北上川河口部の復旧・復興事業を平成23年度より実施してきました。
- 石巻市街地の旧北上川沿いには堤防がほとんど無かったため、140回を超える地元説明会、用地交渉を経て、震災発生から約10年の歳月をかけ、令和3年3月に**全長15kmに渡る堤防の締め切りが完了**しました。

旧北上川河口部の復旧状況



▲無堤区間であった石巻市街地が堤防の築堤により、一連で治水機能を確保。



<旧北上川河口部の復旧・復興区間(堤防整備延長約15km)>



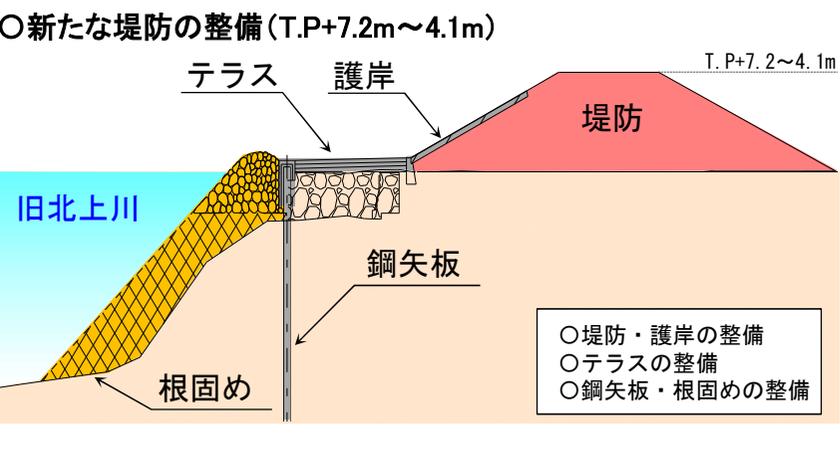
▲旧北上川左右岸全長約15kmの堤防整備を実施

<被災からの復旧>



▲旧北上川右岸中央地区の復旧状況

<旧北上川河口部堤防整備のイメージ>



<旧北上川河口部の復旧・復興状況>



▲石巻市街地を洪水から守る堤防を一連で整備

<旧北上川河口部堤防締め切り作業の実施>

○用地提供にご協力いただいた地権者の方々と関係機関、関係協力団体を招待し、堤防締め切り式を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を中止することとなりました。

○このため、堤防の「締め切り」という位置づけで、堤防の仕上げ工事を実施いたしました。



▲北上川下流河川事務所長による締め切り開始の号令



▲重機による盛土・転圧作業

旧北上川復旧・復興事業～石井水門が完成しました～

- 東日本大震災による旧北上川河口部の復興事業の一環として、平成27年度より施工が進められていた「石井水門」が令和2年10月に完成しました。
- 石井水門は、建設から140年目を迎える国の重要文化財「石井閘門」の代替治水施設として計画され、石井閘門前面に設置されました。
- 石井水門の完成を祝い、令和2年10月31日に完成式が開催されました。



▲國友河川部長 挨拶



▲石巻市長 挨拶



▲貞山・北上・東名運河研究会
代表世話人 後藤様 挨拶



▲テープカットの様子



▲ひたかみ水の里・めだかつクラブの
皆様によるカヌー通船



▲記念植樹の様子

- 石巻かわまちづくりでは、石巻市の「水辺の緑のプロムナード計画」と連携し、旧北上川右岸中央地区に建物と堤防が一体となった水辺空間「堤防一体空間」を創出しました。
- 堤防一体空間は、建物の二階と堤防をつなぐ構造とし、平成29年にオープンした「いしのまき元気いちば」は総来場者数370万人に達しました。
- 堤防天端・テラスにおいては、キッチンカーの出店や、音楽祭のほか、様々なイベントが開催され賑わいを見せています。



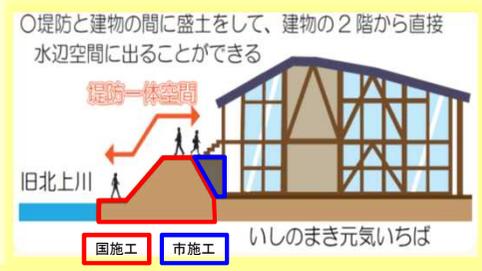
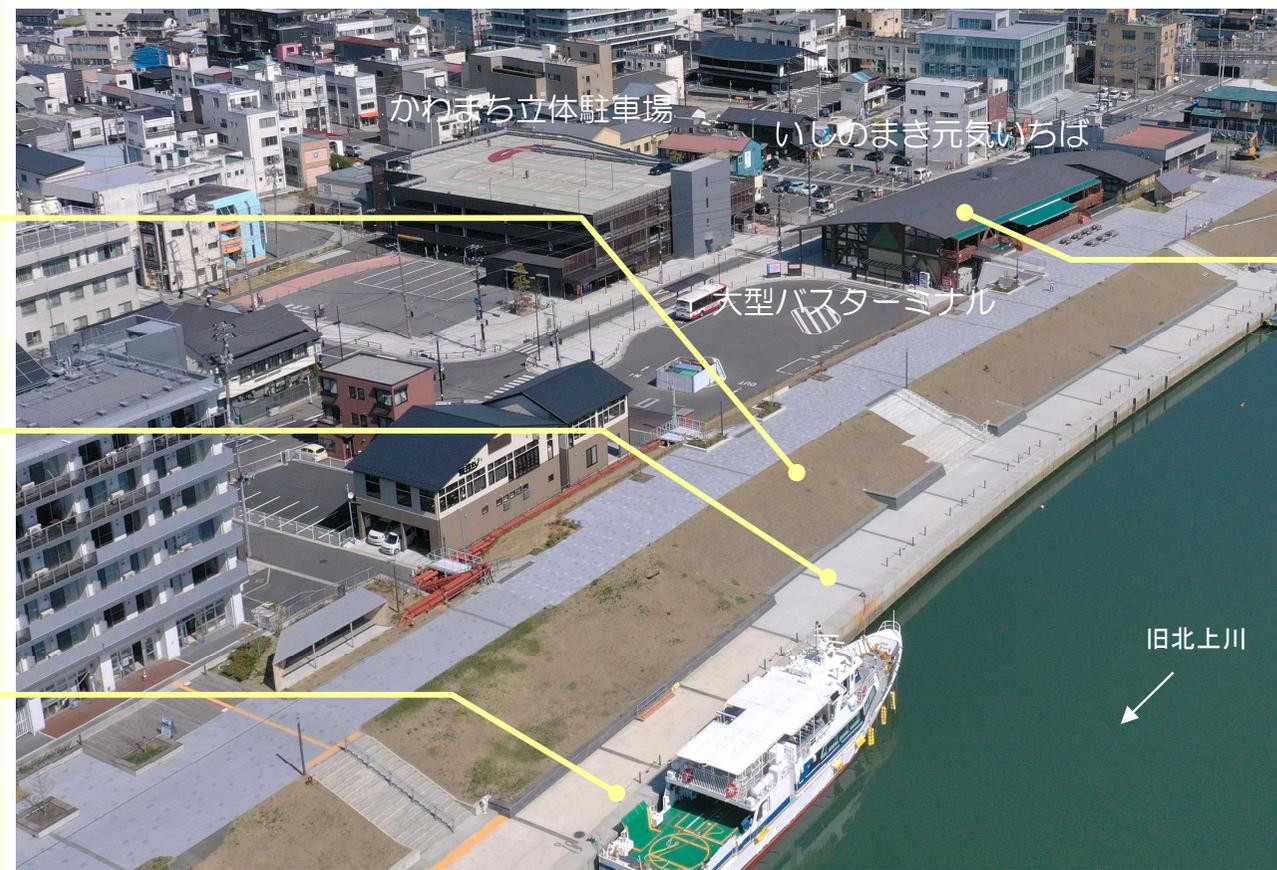
▲法面は中瀬での花火大会の絶好の観覧席として活用



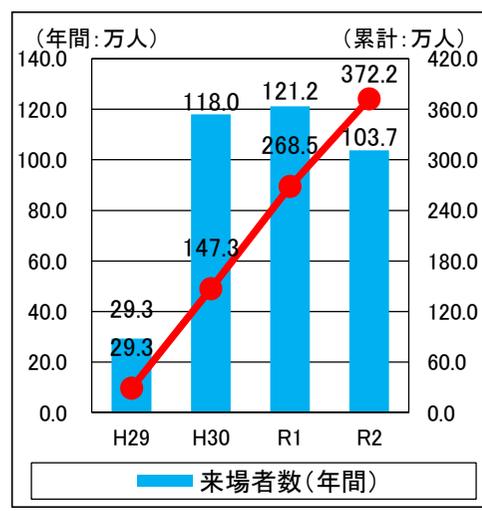
▲トリコロレ音楽祭



▲テラス発着の網地島ラインが就航



＜いしのまき元気いちば来場者数＞



プロムナードやテラス、ゆるやかな法面は近隣に住む人々の憩いの場、町内会活動の場に



▲堤防でヨガ体験



▲キッチンカー物販



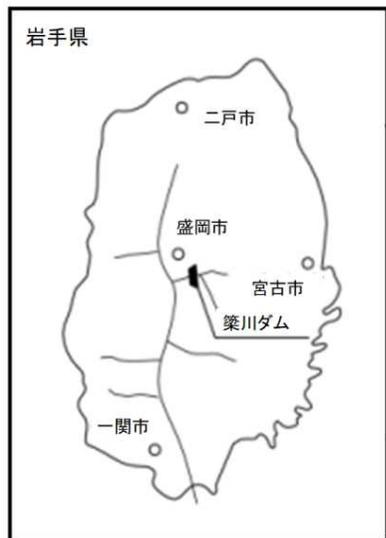
▲水辺でシアター



▲賑わいをみせている「いしのまき元気いちば」

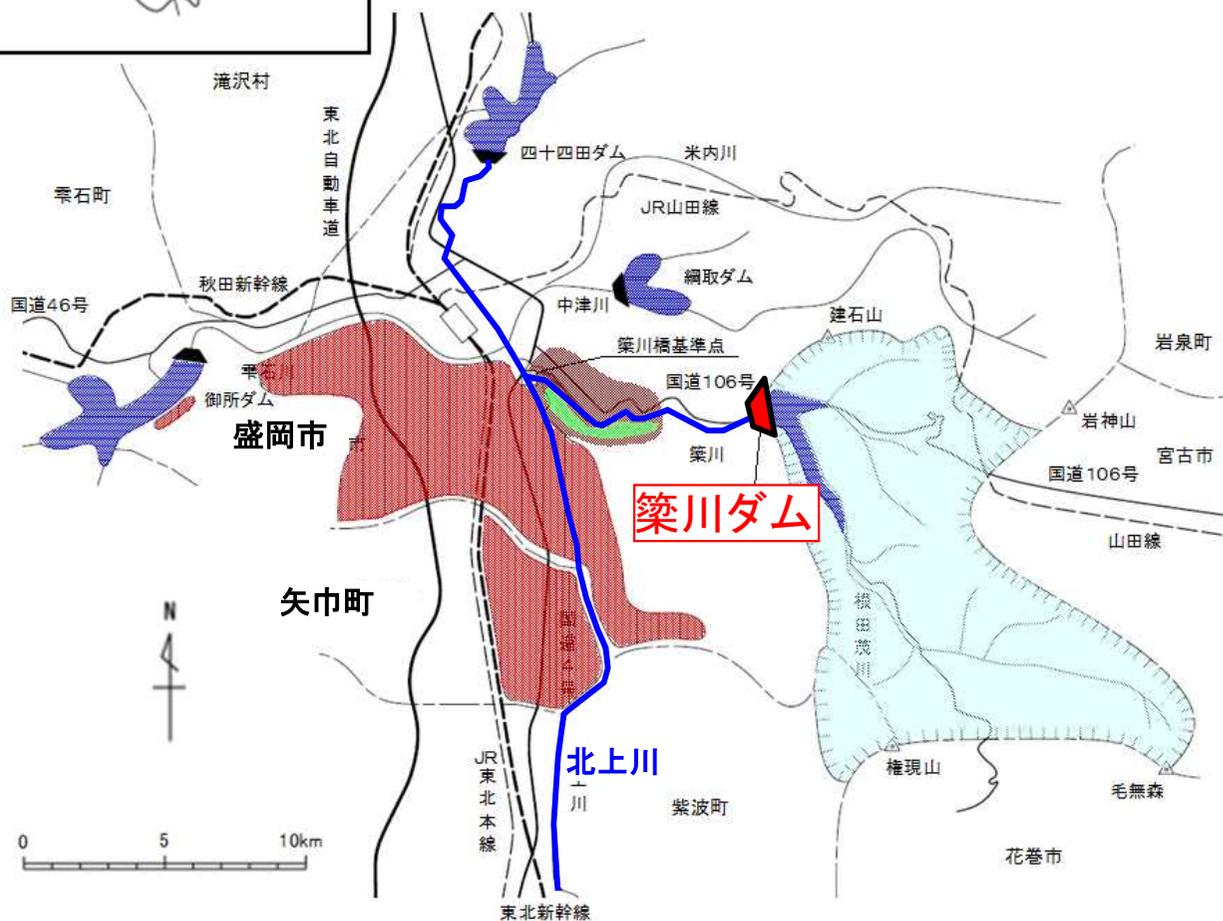


夜の景観演出



流域図

凡 例	
	湛水区域
	集水区域
	洪水氾濫防止区域
	不特定用水供給区
	水道用水供給区域
	治水・利水基準点
	ダムサイト



○場所 もりおかし 岩手県盛岡市 きたかみがわ やながわ (北上川水系築川)

○目的
洪水調節 (築川の洪水防御 (盛岡市))
流水の正常な機能の維持
水道用水の供給
(もりおかし 盛岡市 : 4,300m³/日、やはばちよう 矢巾町 : 700m³/日)
発電 (岩手県企業局 : 最大出力1,900kW)

○諸元
重力式コンクリートダム
堤高77.2m、総貯水容量1,910万m³

○工期 平成4年度 ~ 令和2年度

○経緯
昭和62年 : 実調
平成4年 : 建設
平成23年 : ダム検証による対応方針「継続」
平成27年 : 転流工
平成28年 : ダム本体工事着手
令和2年 : 完成

○総事業費
総事業費 : 約530億

○施工者
清水建設(株)・(株)鴻池組・(株)平野組特定JV

昭和62年	4月	築川ダム実施計画調査着手
平成 4年	4月	築川ダム建設事業着手
平成 5年	3月	ダム建設事業に関する基本協定の締結
平成 8年	4月	一般国道106号築川道路改築事業として補助事業採択
平成 8年	11月	湛水区域における補償基準妥結調印
平成 9年	12月	ダム建設事業全体計画認可
平成10年	3月	水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備計画の決定
平成15年	9月	発電事業者（岩手県企業局）が撤退を表明
平成16年	5月	上水道利水容量の見直し
平成16年	12月	かんがい事業者（岩手県）の撤退表明
平成18年	11月	北上川水系河川整備基本方針の策定
平成19年	3月	ダム建設事業に関する基本協定の変更、ダム建設事業全体計画変更の認可
平成20年	3月	築川ダムを含む盛岡東圏域河川整備計画の認可
平成22年	9月	国土交通大臣よりダム事業の検証に係る検討要請
平成23年	2月	岩手県大規模事業専門委員会が、ダム検証に係る検討結果について、「現対策案が妥当」と答申
平成23年	4月	ダム事業の検証結果を国土交通省に報告
平成23年	7月	今後の治水対策のあり方に関する有識者会議（国主催）で検討結果を審議
平成23年	8月	国土交通省として「補助金交付を継続」との対応方針を決定
平成24年	11月	北上川水系河川整備基本方針の変更
平成25年	3月	付替道路 一般国道106号「築川道路」（復興道路）開通 主要地方道盛岡大迫東和線「築川工区」も同時に一部開通
平成26年	3月	盛岡東圏域河川整備計画の変更
平成26年	12月	ダム本体工事契約
平成27年	4月	転流工に着手
平成27年	6月	岩手県企業局が発電の参加表明
平成28年	1月	ダム建設事業に関する基本協定の変更
平成28年	4月	基礎掘削工に着手
平成28年	7月	築川ダムを含む盛岡東圏域河川整備計画の変更
平成29年	4月	本体コンクリート打設開始
令和元年	9月	堤体最終打設完了
令和2年	10月	試験湛水開始

【平成14年7月洪水】

- 平成14年7月、194mm/2日の降雨を観測しました。
- 築川の増水により、築川橋(北上川合流点)上流左岸堤防が一部崩落し、住民約290人が避難しました。
- 根田茂地区の県道が冠水し2日間通行止めとなりました。

堤防崩落状況写真(平成14年7月11日撮影)



【大規模事業再評価答申】

- 「流域住民等の理解促進」と付帯意見をいただいております。
- 地域住民等に築川ダムを知ってもらうため、出前授業、広報誌発行、イベント出典等の広報活動実に注力しました。

広報活動の概要

- 1 ダムだより
- 2 ダムのお話&いきもの調査
- 3 森と湖in綱取で築川ダムPR
- 4 現場見学会、出前授業
- 5 ダムカード
- 6 広報コーナーの更新
- 7 ホームページ随時更新
- 8 定礎式、メモリアルストーン
- 9 (参考)中野小 学習発表会



↑現場見学会・出前授業



↑ダムのお話し・いきもの調査



↑定礎式メモリアルストーン



【大規模事業再評価答申】

- 毎年、現場見学会及び出前授業を行ってきた地元中野小学校にて、学習発表会でオリジナルストーリーの演劇発表をしています。

中野小学校学習発表会 「ダムよ ありがとう」

- ・中野小学校5年生の完全オリジナルストーリーの演劇
- ・緑のダムと築川ダムのお話
- ・ユーモアも交え、息の合った合唱や演奏など、心のこもった素敵な発表



セリフより『こうやって私たちの暮らしを守るダムは、たくさーんの人たちによってつくられていくんだね。』

『緑のダムと築川ダム、このふたつのダムに守られて、私たちはこれからも 笑顔で生活することができるのだ。ダムよ、ありがとう！』



ダムサイト(サーチャージ水位越流状況)



ダムサイト(上流から望む)



ダムサイト(下流から望む)



築川ダム管理所外観

やながわ 築川ダム建設事業 ⑥竣工式

補助
ダム

【式典概要】

- (1)日 時 令和3年7月18日(日)10時～11時30分
- (2)場 所 築川ダム ダムサイト(盛岡市川目地内)
- (3)主な出席者 知事、東北地方整備局長、東北経済産業局長、県選出国會議員、盛岡市長、矢巾町長など
- (4)式典内容 式辞・挨拶・来賓祝辞・工事経過報告・記念碑除幕・テープカットくす玉開披・発電開始



達増 拓也
岩手県知事式辞



谷藤 裕明
盛岡市長挨拶



高橋 昌造
矢巾町長挨拶



稲田 雅裕
東北地方整備局長祝辞



平井 淳生
東北経済産業局長祝辞



記念碑除幕



テープカット

盛岡地区かわまちづくり 開港祭 開催！！

- 令和3年6月19日(土)、『盛岡地区かわまちづくり』で整備された親水護岸(船着き場)※の完成を記念し、岩手県盛岡市の北上川で『開港祭』が開催されました。 ※ 令和2年度に国交省にて整備
- 谷藤盛岡市長より、『国交省には、要望から早急に対応してもらい、大変尽力して頂いた。』と祝辞を頂きました。
- 北上川に舟っこを運行する盛岡の会・村井会長からは、『夢にまでみた船着き場が、国交省の協力により完成が現実となり大変うれしく思う』と挨拶を頂きました。

日時 : 令和3年6月19日(土)

会場 : 岩手県盛岡市 開運橋上流河川敷

主催 : 盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会

(北上川に舟っこを運行する盛岡の会、盛岡市、国土交通省岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所)

◆報道状況

令和3年6月20日(日)岩手日報 23面

「悠悠流れる川面の街並み

～盛岡 船着き場から木造船～」

船着き場から出港する様子が伝えられました



北上川舟っこを運行する
盛岡の会 村井会長

岩手県 国土整備部
中平部長

平井岩手河川
国道事務所長

谷藤盛岡市長

齋藤北上川ダム
統合管理事務所長

北上川舟っこを運行する
盛岡の会 顧問
平山岩手大学名誉教授

▲テープカット



▲北上川に舟っこを運行する盛岡の会 村井会長挨拶



▲谷藤盛岡市長祝辞



▲開港をお祝いするため多くの市民等が来場した様子



▲もりおか丸出港(開港)を祝う さんさおどり

